

迎春

2006年元旦



No.379

編集発行人 中西三洋
 治安維持法犠牲者
 国家賠償要求同盟

〒113-0034 東京都
 文京区湯島2-4-4
 平和と労働センター・全労連会館
 Eメール chiam@plum.plala.or.jp
 電話 03(5842)6461
 FAX 03(5842)6462
 振替 00110 6 97793
 定価 50円

主 な 記 事

新年のごあいさつ / 同盟中央役員、都道府県本部	2 / 3
新春随想 / 神戸照、はた愛	4
顕彰碑 / 石川県・河野登喜雄	5
時の焦点 / 在日米軍再編	5
抵抗の群像 / 新潟県・山田あき	6
「時効不適用条約」批准を促進させよう / 柳河瀬 精	7

遺す言葉

小森 香子

覚えておいてほしいの 私が少女だった頃
 父達も若者も戦場になり出され 殺し殺され
 日の丸振って見送った駅に 空の骨箱で戻り
 毎夜 列島の空は燃え 火の雨が降りそそぎ
 街も港も学校も病院も 見さかいなく焼かれた
 忘れないでほしいの その人たちの血潮で
 日本国憲法が書かれたこと その九条の精神を
 侵略戦争反対を叫んで牢獄に捕われ殺された
 日本共産党員が主権在民を主張しつづけたことを
 戦争をしない国を守るのは私達自身なのだから

新年明けましておめでとうございませう



中央本部長

中西三洋

敗戦後六一年目、治安維持法国家賠償要求同盟結成三八周年目の春を迎えました。

あらためて歴史を振り返るのも、今の日本に、平和と民主主義、国民のくらしに、戦後かつてない危機的状況が生まれているからです。

米軍基地再編に反対するたたかい、重税に反対するたたかい、福祉切り捨てに反対するたたかい、アメリカにいいなりの外交・内政の干渉に反対するたたかいなど、小泉自公政権との矛盾は頂点に達し、たたかいはいたるところに発生しています。

これらのたたかいと連携し、協力・共同をすすめ、なんとしても憲法改悪の一点で多数派を結集することが求められています。

同盟は、みずからの要求、国に謝罪と賠償を要求するたたかいを発展させると同時に、民主的平和的国家の存亡をかけた、このたたかいに全力を傾注する決意であります。

みなさんの旧に倍するご支援ご協力をおねがいして、新年の挨拶とします。

同盟中央役員・顧問

- | | | | |
|-----|------|--------|------|
| 副会長 | 中西三洋 | 近江谷昭二郎 | 高嶋信敏 |
| | | 神戸照 | 増本一彦 |
| | | 近藤一雄 | 宮田勝 |

北海道 外尾 静子

多くの人が命と暮し、平和への不安を抱き、将来への確かな希望も持てないままに過しているように思われます。私たち同盟の活動はどうあるべきかを考えながら新年を迎えました。

国賠償名を集め、先達を顕彰し語り継ぐことは重要な独自活動です。同時にもっと幅広く多くの人々と手を携え輪をつくる年にしたいとねがっています。

岩手県 牛山 靖夫

靖国神社は大問題です。でも、その内容でなく、名前さえ聞いたことがないという若者がいたのです。ぎよつとする現実です。

どうしたら、この若者たちと心を一つに結んで、憲法9条を守る歴史的な綱引きができるのか。

声を大にして「再び戦争と暗黒政治を許すな」の歴史を語りつがねばと決意を新たにしています。

東京都 宮田 勝

小泉内閣の憲法改悪、大増税、社会保障改悪などの悪政の暴走に国民の怒りをぶつけましょう。靖国史観が国の内外で批判され

ても居直っています。

都同盟は、憲法改悪を許さない運動に広範な国民と連帯し全力を尽くします。「再び戦争と暗黒政治を許さない」同盟の輝く、新しい年にしましょう。

千葉県 中山 功

二〇〇六年は、憲法改悪をはじめ大増税などアメリカいいなりの戦争する国づくりが一段と烈しくなろうとしています。その攻撃は、国民との矛盾をさらに深めるものとなります。

同盟は国民と固く結び、憲法問題を前面に運動を広げ、五〇万署名目標、会員拡大目標達成に力をつくします。

静岡県 松永 和夫

過去の侵略戦争を正当化する異常な小泉政権の改憲策動が強められているも、戦前の不屈の闘いの伝統を引き継ぐ国賠同盟の存在意義が問われる局面です。同盟組織の拡大、支部の確立強化を力にして、国賠償名の目標を達成し、そのとりくみと結びつけて、「九条守れ」の国民的合意を広げるために全力をつくす決意です。



一〇〇歳おめでとう

沼田秀郷さん

同盟本部顧問の沼田秀郷さんは一九〇五(明治38)年生まれ、10月31日で一〇〇歳の長寿を迎えました。

村伊師(現十王町)に生まれ、生家は代々医者。一九三一年に早稲田大学仏文科中退、三三年12月に検

挙、懲役3年執行猶予5年。三八年の唯研弾圧で再び検挙。41年の日米開戦翌日検束、水戸刑務所へ。

戦後、共産党中央役員をへて67年からチエコスロバキアに駐在し

て『平和と社会主義の諸問題』誌編集局で活動。日本美術会に所属

し、水彩画を得意とされます。

溝淵 政子	米山 順夫	会計監査
柳 瀬 精	荒井 俊信	若林 義文
事務局長代行	北村 直吉	吉田 忠文
針谷 宏一	久保田俊雄	名誉会長
事務局次長	水野 晃治	桑原 英武
富矢 信男	塩田 一行	顧問
松田 岩男	井上 敏江	沼田 秀郷
常任理事	岡本 康	松崎 濱子
松井 久雄	築谷 時雄	宮本 太郎
川口 弘	引地 延子	丸山三之助
小口 巽	則武 真一	田熊 真澄
齋藤 久枝	勝部 庸一	石坂 貞人
横川 定司	久保 文彦	渡辺 タケ
村田 泰子	中川 悦良	吉田千代子
伊藤 俊	宇野美代子	青山 照明
外尾 静子	角銅 立身	小林 初江
島津 昭	橋本 幸夫	都留 忠久
大沼 耕治	上野 隆司	

長野県 加藤 孝一 決意です。昨年の請願でこれまで

最高を結集した成果をもとに県民
昨年長野県本部結成三〇周年
を迎えて、これを節目に「再び戦
争と暗黒政治を許さず」の旗をか
かげて同盟運動の発展にとりくん
できました。新しい年を迎えるに
あたり、世界に光り輝く日本国憲
法を守り、広げるために国賠署名
とあわせ、全同盟員一丸となって
頑張る決意です。

愛媛県 中川 悦良
新しい二〇〇六年こそ、日本国
民の進路の岐路の年です。
「ふたたび戦争と暗黒政治を許
さない」同盟の基本目標を、すべ
ての国民に生き生きと訴えかける
時は今です。

大阪府 塩田 一行
過去の侵略戦争を正当化する異
常を大本からの転換は、民主的な
政府の樹立を待たずに実行すべき
急務の課題。ドイツのように、過
去の歴史としっかり向き合い、近
隣諸国と友好関係ができる政府を
実現させるために、まさに同盟の
出番です。

長崎県 吉田 次雄
昨年は、先輩の「墓碑めぐり」
を二回おこない会員も四名ふえま
した。昨年未には、職場の会員か
ら、「命がけで闘ってくれた先輩
がいたことを心から誇りに思いま
す。その志を受けついで奮闘した
い」と二名の入会申込書がとどき
ました。

鳥取県 伊藤 昭二
自民党「新憲法草案」の決定な
ど新たな段階に入った憲法改悪の
策動を許さぬ国民多数派の結集は
緊急の課題です。このたたかいと
結んで署名・会員目標を達成する

今年、こうした力を大きくし
て、「憲法九条を守る」運動に力
を入れる決意です。

新春随想

気力と体力

神戸 照
(同盟岐阜県本部会長)



「年齢を重ねると、月日のたつのを早く感じるようになる」と高齢者の多くの方が言っています。それは若い人々には将来が未知の世界であるが、高齢者は、これからどれだけ生きられるかの限界を感じているからではないでしょうか。

同盟員の多くは高齢者であり、国賠要求実現のめどもまだたつていません。しかし、私達は「日本の情勢は古い政治の枠組みを打開する新しい政治を切実に求めている歴史的時期をむかえている」なかで活動しています。生命は科学的であり客観的ですが、私達の主観的努力が生命に影響します。国賠要求実現の活動に取りくむ気力が健康な体力を保つていくうえで影

響します。

年をとるにつれ、体力もおとろえてきます。だから年相応と受動的でなく前むきに気力を充実させ体力を維持していくことが大切とおもいます。

新しく政治を求める変革の流れのなかで、憲法改悪阻止国賠要求実現の活動に生きがいを求め、充実した気力で活動しましょう。

若者を支え 育てくれる同盟

はた 愛
(高知市市会議員)



新年あけましておめでとうございます。私が治安

維持法国賠同盟に入ったのは26歳のときでした。私は青年の思いは時代をも超えられると思います。

「治安維持法」を許せない悪法と戦争体験のない私が思うのは、治安維持法犠牲者と同じく「戦争反対」と言っているからです。「戦争がいけない」と言えることは、

あたりまえだと思っている今、しかし、そんなあたりまえさえ許されなかつた歴史、特に私と同じ頃の多くの青年が犠牲になつたという歴史、時代を越えても同じく戦争を許さない心は同じだと思つと、すこく、治安維持法犠牲者の話が身近に感じます。

若者は事実を伝える大事な存在です。

高知だけではないと思います。同盟員の中で若者が少ない状況があります。最近、同盟に入つた二〇代の青年も事実を知つて思いが変つたといひます。そして多くの若者に「治安維持法」を知つてもらふ取り組みをしたいと「青年交流・学習会」を開催しました。

県内だけでなく、兵庫県の青年との交流学習会に高知から二人の若者が参加し、ネットワークを広げています。また今年は犠牲者の証言を聞く会をしようと企画をするなど若者もがんばっています。

若者の取り組みを支えてくれる方、教えてくれ、育ててくれる同盟だからこそ、こつやつて若者らしく元気な取り組みができると思つと、治安維持国賠同盟の先輩方に心から感謝しています。

学習・討議に最適のパンフレット復刻版緊急発行

『戦争犯罪と人権に反する罪に時効はない』

定価 200円 10冊以上まとまれば2割還元 20冊以上送料負担

取り扱い 治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟大阪府本部

〒543 0045 大阪府天王寺区寺田町 2 6 2 東大阪ビル 3 F

TEL・FAX 06 6772 7555

顕彰碑

石川県志賀町 農民の苦難を救うために 不屈に闘った河野登喜雄之碑

一九三〇年前後の深刻な不況のなかで、米価の暴落に苦しむ農民の惨状を見かねた河野登喜雄は、結核で療養中の身を顧みず、農民組合を結成。全農石川県連合会の能登地域における中心となって活動。二度の検挙に屈せず、地主と小作料の減免交渉を行って成功しました。

また薄暗い十六燭光(約二十ワツ)の電灯料金が六十銭から七十五銭(白米五升〓約七・五キロの値段)に大幅値上げされ、「一万四千百十七灯が電灯料金不納のため滅灯」と報道される農民の窮状を救うため、電灯料金の値下げを要求

し、鹿島、羽咋、河北三郡に及ぶ広範な地域で電灯料金不納同盟を結成、六百戸の農家を組織。これに数倍する農民が立ち上がり、闘いは大きく広がりました。

だが河野登喜雄は、一九三三年八月、富山電気羽咋営業所に「テモをかけた際、三度検挙され、獄中で瀕死の重態となり、仮出獄の同年十一月二十四日、「農民運動の灯を消すな」と遺言。二十四歳の若い生命を農民の苦難を救うために捧げたのです。この闘いの結果、富山電気は「電気料金値下げはしないが、不納分、滞納分の電気料金はとらない」と発表せざるを得ませんでした。



戦後、関係者の証言によって、河野登喜雄は日本共産党員であったことが明らかとなり、「河野登喜雄之碑」が出生地の羽咋郡志賀町末吉の一角に建立され、毎年、「河野登喜雄顕彰会」によって碑前祭と慰ぶ会が行われています。

(石川県本部副会長 森 昭)

時の焦点

基地の本島北西部への移転、集中。嘉手納基地とキャンプ・シユワブの日本共同使用。

本土関連としては、

在日米軍再編

新春そうそうに、在日米軍再編が急ピッチです。米国側は外務大臣と国防長官、日本側は外務大臣と防衛庁長官。いわゆる2+2の異名でよばれる日米安保連絡協議委員会。二〇〇五年秋合意された「中間報告」にもとづく強行です。

まず沖縄関連では、普天間基地に代わるキャンプ・シユワブ沿岸部への新基地建設。グアムへの海兵隊司令部の移転。空中給油機の鹿兒島・鹿屋基地への移転。沖縄本島南部

・横須賀基地への米原子力空母の母港化など。

「中間報告」は、このように、日本を出撃基地とする米軍の地球規模で展開しようとする軍事戦略と、その尖兵として役割を果す日本自衛隊との、陸海空三軍にわたる共同戦闘体制の強化をめざすものとなっています。

「在日米軍再編」というより「日米共同軍事体制の再編強化」が実態です。

こうした事態に呼応するよう「防衛庁」の「防衛省」への政治的格上げが、新春からの通常国会に提案される運びとなっています。

一連の動きは、日本を戦争をする国に仕立て上げるばかりか、政府自民党の「自衛隊を自衛軍」に拡充強化し、「集団的自衛権」を解釈上発動しようとする憲法改悪案を先き取りする危険な策動です。しかもこの「在日米軍再編」に必要なとする費用はほとんど全部日本持ち。

東京・横田基地への日米共同統合運用調整所とミサイル防衛共同開発センターの設置および航空自衛隊総隊司令部の移転。神奈川座間基地での米陸軍新司令部の創設と陸上自衛隊中央即応司令部の新設。相模総合補給廠への陸上自衛隊の配備。青森・車力基地への米軍Xバンド・レーダー配備。米空母艦載機の山口・岩国基地への移転。岩国より海上自衛隊機の神奈川・厚木基地への移転。神奈川

の強行に、いま沖縄はじめ全国各地で、自治体ぐるみの広範な運動が展開されています。

(二九)

抵抗の群像

信念つらぬき不屈に生きた プロレタリア歌人山田あき



宮川 哲夫

(新潟県上越支部)

私は、山田あき(本名、村松ついで)さんをとおりあげようと考えたのは、短歌の問題とともに日本の近代女性の生き方として典型的なひとりであるからです。

あきさんは、一九〇〇年(明治三十三年)一月一日、新潟県東頸城郡浦川原村菱田の父村松茂三郎母いつの五女として生まれましました。一九一五年(大正四年)に高田高女を卒業し、奈良女高師推薦入学を父に阻まれ、京都の医師のもとに嫁ぐが、離婚。その後上京しました。

一九二九年(昭和四年)六月に、渡辺順三、坪野哲久らのプロレタリア歌人同盟に参加。犠牲者救済会の活動中検挙されました。

そうしたなかで、一九三二年昭和六年)三月坪野哲久と結婚しましたが、八月に、戦旗社の非合法

部門担当により夫と共に検挙されたのです。このように新しい結婚生活に入りましたが相づく治安維持法違反で検挙され、まともな職



もなく貧しい生活のなかで病弱な哲久をかかえて家政婦をしたり、和裁の内職、工場勤め、更には二人で、路上で焼鳥屋をしたりしな

から短歌活動を続けていました。一九三四年(昭和九年)の「短歌評論」には

たくましく心もとても病みふせば
空の青さをなげくか夫は

と歌い、病弱でありながらたくましい精神を側面から支えるよき理解者でした。

看護りつつ生きむと和服裁縫の新しきかんぱん門に打ちたり

裕福な地主の家に育った娘時代の生活から見れば、家政婦や焼鳥屋台の仕事など想像もできない屈辱感に耐えながらのものであつたでしょう。

腹の子の胎動たしかなればこころ
強し汗したたらして焼鳥焙る

借家住まいの貧乏のどん底暮らしでも、貧しい人が世の中を支えているという信念の二人は、貧しさを嘆き苦しんではいますが、決して卑下してはいません。

哲久は「昭和秀歌」の中で、「あきの作家態度は、はじめから生活

を歌い社会的現実に係るといいう行き方で、この態度は一貫して今日まで及んでいる。人間の存在そのものを、また人間の集団である社会生活そのものを歴史的な観点から理解しようとしている」と述べ「生活上の困急欠乏は言うまでもなかつたが、この事のみならば耐乏も得たであろう。だが戦時中の諸条件に加うるに悪法によるいわれなき束縛と重圧は実に言語に絶する苦痛を与えないではおかなかつた」と。

あきさんは、戦後の社会運動、婦人運動に積極的に参加し、第一回日本母親大会では発起人として参加、安保闘争AA作家会会議の平和運動でも推進力となり、一九六六年十一月東京世田谷の経堂病院で永眠。九十六歳でした。

私たちは、二〇〇〇年生地の高い山に山田あき歌碑を建立、除幕し、その榮譽をたたえました。

(註) 山田あきさんは「糸の流れ」(紡績歌集)、「生活のこだま」「稲の花」「航海者」「飛泉」「流花泉」「遺響」「山河無限」「氷河」「牀上の月」など多くの歌集をだしています。

(写真・生地)に建つ山田あき歌碑

一〇〇五年一月、中央常任理事会は「戦争犯罪と人道に反する罪に対する時効不適用に関する条約」(以後「時効不適用条約」と略)の国会承認と批准を求める署名運動を開始することを決定しました。

しかし「時効不適用条約」そのものについて、まだ一般に広く知られていないのが現状です。

「時効不適用条約」は一九六八年の国連第二三回総会において、賛成五八、反対七、棄権三六で成立し、一九七〇年一月一日に批准国が必要数に達して発効し、国際法として確立されました。日本は条約の提案にたいしては棄権し、今日まで批准をおこなわないままになっています。

二五年前に特別決議

治維法国防同盟では八一年の第一三回定期大会でこの条約の速やかな批准を求める特別決議を採択しています。それ以来、批准を求めるスローガンを掲げてきました。八七年一月中央幹事会で桑原英武副会長(当時・現名誉会長)が条約についての特別報告を行い、その報告に加筆されたパンフ

レット『戦争犯罪と人道に反する罪に時効はない』が討議資料として発行されました。こうした取り組みがありながらも、条約について十分な運動化が行われず、宣伝も広く行われてこなかったのが実際です。

同盟は、治安維持法犠牲者に対する国賠署名を、一九七四年から取り組んで、毎年国会請願を続けています。同盟の同賠要求運動は、

「時効不適用条約」批准を促進させよう

柳河瀬 精

天皇制権力が犯した戦争犯罪を追及し、治安維持法下でおこなわれた人道に反する権力犯罪を告発し、犠牲者に謝罪を求め続けるたかいです。

同盟の運動そのものが、まさに一九四五年までの、戦争犯罪と権力犯罪に時効の不適用を求めるものです。しかし、治安維持法についての政府見解は「当時必要な法律であった」という域を一步も出ようとしていません。

それだけに「時効不適用条約」そのものについて、批准を求める独自の取り組みを強めることが必要です。

「慰安婦」問題なども

今日あらためて「時効不適用条約」の署名運動を提起したのは、今日の情勢の特徴からです。

一つには、人権問題についての国際的関心の高まりがあります。

小泉首相の靖国神社参拝と、全争礼賛を子どもたちに教え込もうとする教科書問題に、象徴的に現れています。侵略戦争正当化の動きが、この数年来顕著です。

この逆流とたたかうためにも、戦争犯罪を問い、侵略の加害を考へ、権力犯罪を追及する声を大きくしなければなりません。このたかいたかいたなかで、時効不適用条約の批准を求める運動は、この条約の存在を広く知らせながら、大きな力を発揮するでしょう。

さらに、これまで同盟は、他の戦後補償の問題との連帯や共闘は、十分なものとはいえませんでした。

二〇〇五年九月に開かれた国連六〇周年記念首脳者会議で採択した「成果文書」には、次の国連総会で人権理事会の設置をきめると明記されました。

国連では、これまで社会経済理事会のもとに置かれた人権小委員会が扱われてきました。人権理事会設置は大きな発展です。

いま一つには、侵略戦争を正当化しようとする逆流とのたたかいをいっそう強めるためです。

同盟の運動発展のために奮闘しましょう。(同盟本部副会長)

注「時効不適用条約」の全文は、外務省のホームページに掲載されています。

賀正

非核の政府を求める会
常任世話人 塩田庄兵衛

東京都文京区本駒込二二六一二
〇三三三九四一五〇五二

畑田重夫

木村康子

(日本母親大会)

一橋大学名誉教授

浜林正夫

日本美術会

第59回日本アン・ジパンドン展

〒03 5842 5665



事務局日誌

12月3日 婦人団体連合会総会参

加

12月4日 国際人権活動日本委員

会総会参加

12月5日 「不屈」編集委員会

12月8日 葛飾ビラ弾圧事件第七

回公判参加

12月10日 日本国際法律家協会総

会参加

12月12日 「不屈」編集委員会

12月13日 東京女性交流集会報告

会参加

12月20日 「時代を撃て」全労連

会館上映

12月22日 3・8国際女性デー実

行委員会参加

『治安維持法と現代』秋季号

治安維持法廃止60周年

にふさわしい企画

治安維持法廃止60周年記念のシンポジウムの全記録を収録するため、発行が遅れていた『治安維持法と現代』秋季号がようやく刊行の運びとなりました。

本号ではシンポジウムの他、二つの特集 一つは治安維持法の弾

圧の実態を多角的に解明した論考、もう一つは第二次大戦を回顧したもの。靖国史観の発信地となっている靖国神社そのものを、詳しくガイドする連載第一回も掲載。

改憲の動きが強まるなか、最近の言論弾圧とのたたかいについて、国民救済会長の山田善二郎氏にその特徴とたたかいについて寄稿していただきました。

山梨県同盟の石川さだのさんの名誉回復を求める日本弁護士連合会の調査報告書(全文)は、治安維持法による弾圧デッチあげが、どのような経過をたどって作られて行かかを実際の事件を通して知るうえで、また石川さんの名誉回復実現のたたかいを進めるうえでも、生きた教材になるものです。

「治安維持法と現代」

06春季号原稿募集

同盟の運動理念にふさわしい政論、運動論、治安維持法下のたたかいの探究など。

字数 四、〇〇〇字以内
締切り06年2月15日

採否については編集委員会に一任がいます。

「治安維持法と現代」編集委員会

●治安維持法廃止60周年記念号

『治安維持法と現代』 2005年秋季号 好評発売中

【主な内容】同盟主催『シンポジウム 戦後民主主義と治安維持法を問う』全発言を収録。特集1 治安維持法による弾圧の実態を7氏が論述。特集2 戦後60周年にちなみ5氏が執筆。他に最近頻発する言論弾圧を告発。石川さだのさんの甲府市役所不当解雇にたいする名誉回復を求める日弁連調査報告書(全文)を掲載。文芸を含む多彩な内容。A5版・170頁、定価1000円、送料240円。同盟各県本部で取り扱い。

企画・編集 治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟



中央

賀正 日本共産党

中央委員会
東京都渋谷区千駄ヶ谷四二六七
〇〇三三三四〇三三六一一一

賀正 二〇〇六年 元旦
日本共産党
国会議員団

東京都千代田区永田町一七一衆議院内
〇〇三三三五八一五八八八

安保破棄中央実行委員会
東京都千代田区三崎町一一一三

〇〇三三三二六四 東洋ビル
四七六四

自由法曹団
団長 坂本 修

東京都文京区小石川二二二八
DIXMANショ小石川二〇一
〇〇三三三八一四三九七

日本民主青年同盟
中央委員会

東京都渋谷区神山町四
〇〇三三三四六八五三〇〇六

日本婦人団体連合会
月刊「婦人通信」

東京都渋谷区千駄ヶ谷二一九〇三
〇〇三三三四〇一一六四七
〇〇三三五四七四五五八五

新日本婦人の会

東京都文京区小石川五〇二〇
〇〇三三三八四九一四一

婦人民主クラブ(再建)
婦人新新聞
〒151 渋谷区千駄ヶ谷三二八第12層ビル30号
F〇〇三三三四七八二二一七
〇〇三三三四七八二二一七八

全国労働組合総連合
熊谷 金道
〒113 東京都文京区湯島二四四
F〇〇三三三五四二五六一一

全国商工団体連合会
長 国分 稔
〒171 東京都豊島区目白二二六三
F〇〇三三三九八七四三九一
〇〇三三三九八八〇八二〇

日本国家公務員
労働組合連合会
中央執行委員長 堀 口 土 郎
東京都港区西新橋一七二四
F〇〇三三三二五〇二六三六三

全労働省労働組合
中央執行委員長 新宮 峰男
東京都千代田区霞が関二二二
100 8916 中央高庁舎警署八階厚労働省内
F〇〇三三三二五〇二六三六三
内線五八九〇五八九五

全法務省労働組合
中央執行委員長 岩波 薫
東京都千代田区霞ヶ関一一一
F〇〇三三三三〇八〇五八四

全国税労働組合
東京都千代田区霞ヶ関三一
F〇〇三三三三〇八一三六七八
F〇〇三三三三〇七〇八八八六

憲法教育基本法を守りまかせよう!
全日本教職員組合(全教)
中央執行委員長 石 元 巖
東京都千代田区二番町二二
F〇〇三三三三〇二二二三

日本自治体労働組合総連合
中央執行委員長 駒場 忠親
東京都文京区大塚四一〇七
F〇〇三三三三九七八三五八〇

日本医療労働組合連合会
東京都台東区入谷一九五
F〇〇三三三八七五五八七一

日本新聞労働組合連合
東京都千代田区三崎町三五六
造船会館五階
F〇〇三三三三六五八六四二(代)

農民運動全国連合会
会 長 佐々木 健三
東京都豊島区南池袋一三三二
池袋パークサイドビル四階
F〇〇三三三三九〇六九五三
F〇〇三三三三九〇六九五三

全日本年金者組合
みんなの力でゆたかな人生を
中央執行委員長 森 信 幸
東京都豊島区南大塚一六〇二〇
F〇〇三三三三九七八二七五一

生協 労働連
東京都渋谷区千駄ヶ谷四一九
南部ビル三階
F〇〇三三三三〇八〇〇六七

全日本民主医療機関連合会
会 長 肥 田 泰
東京都文京区湯島一四四
F〇〇三三三三三〇八四一七
F〇〇三三三三三〇八四一七

原水爆禁止日本協議会
東京都文京区湯島一四四
平和と労働センター六F
F〇〇三三三三三〇八四一七
F〇〇三三三三三〇八四一七

非核の政府を求める会
東京都新宿区信濃町三三三
信濃町ビル四〇一
F〇〇三三三三三六七五五一一
F〇〇三三三三三三五〇九二〇

日本中国友好協会
会 長 伊藤 敬一
東京都千代田区西神田二四一
F〇〇三三三三三三四四七〇〇三
F〇〇三三三三三三四四七〇〇三

日本平和委員会
東京都港区芝一四九
平和会館
F〇〇三三三三三三三三三三三三
F〇〇三三三三三三三三三三三三

日本宗教者平和協議会
理事長 鈴木 徹衆
東京都文京区湯島三三七一一
TS第七ビル五〇二
F〇〇三三三三三三三三三三三三
F〇〇三三三三三三三三三三三三

日本ベトナム友好協会
東京都豊島区南大塚一七一〇
F〇〇三三三三三三三三三三三三
F〇〇三三三三三三三三三三三三

メディアセンター
メヂアセンター
(株)きかんし
代表取締役社長 会田 勇

月刊「機関紙と宣伝」
日本機関紙協会の
理事長 高橋 己
東京都港区芝一四九
F〇〇三三三三三三三三三三三三
F〇〇三三三三三三三三三三三三

東京都江東区辰巳
二八二二
F〇〇三三三三三三三三三三三三
F〇〇三三三三三三三三三三三三

平和と労働センター・全労働連合会
(財)全労働連合会館
東京都文京区湯島一四四
F〇〇三三三三三三三三三三三三
F〇〇三三三三三三三三三三三三

信頼と安心の旅
(株)富士国際旅行社
東京都新宿区新宿一一一七
F〇〇三三三三三三三三三三三三
F〇〇三三三三三三三三三三三三

自費出版
民主勢力の本づくり50年。多様な要望に応える高い技術。相談無料。
光陽出版社・(株)光陽メディア
F〇〇三三三三三三三三三三三三
F〇〇三三三三三三三三三三三三

光陽出版社・(株)光陽メディア
F〇〇三三三三三三三三三三三三
F〇〇三三三三三三三三三三三三

(株)翼プロダクション
代表取締役 山口 逸 郎
東京都港区新橋三六二 本洋ビル
F〇〇三三三三三三三三三三三三
F〇〇三三三三三三三三三三三三

劇団 前進座
東京都武蔵野市吉祥寺南町
F〇〇三三三三三三三三三三三三
F〇〇三三三三三三三三三三三三

株式会社 教宣文化社
代表取締役社長 三澤 憲一
東京都練馬区豊玉北二二二
F〇〇三三三三三三三三三三三三
F〇〇三三三三三三三三三三三三

株式会社 教宣文化社
代表取締役社長 三澤 憲一
東京都練馬区豊玉北二二二
F〇〇三三三三三三三三三三三三
F〇〇三三三三三三三三三三三三

株式会社 教宣文化社
代表取締役社長 三澤 憲一
東京都練馬区豊玉北二二二
F〇〇三三三三三三三三三三三三
F〇〇三三三三三三三三三三三三

<p>0044 東京都新宿区喜久井町二九 F〇〇三三三三〇五 七九五九 F〇〇三三三三三三 八七五二</p>	<p>柳瀬正夢研究会 研究誌「ねじ釘」は戦前、 治安維持法に抗して反戦平和 の絵筆を振るった柳瀬正夢の 画業を紹介!</p>	<p>小林多喜二逗留の宿 福元館 0121 神奈川県厚木市七沢二七五八 F〇〇四六一四八 六二五八 F〇〇四六一四八 六二五八</p>	<p>株式会社 新日本出版社 代表取締役 小櫻 勲 東京都渋谷区千駄谷四一五六 F〇〇三三四二二三 八四〇一</p>	<p>(有) 石川印刷社 代表取締役 石川 幸一 東京都千代田区猿樂町三三六 F〇〇三三三九四 六五七四 F〇〇三三三九四 六五七四</p>	<p>いわさきちひろ作品普及会 東京都杉並区阿佐谷南一四一 F〇〇三三三三三八 三三五三</p>	<p>家族旅行から各種大会までの旅行社 勤労者レクリエーション協会 〒170-0013 東京都豊島区東池袋一四六三 F〇〇三三三九八四 〇四〇一(代) F〇〇三三三九八四 〇四〇七</p>	<p>平和と音楽のつどい実行委員会 「平和と音楽のつどい」は'98年 からはじまった平和のための音 楽イベントです。 連絡先〇九〇九三八八八〇一六 〒162-0033 東京都文京区本郷五 F〇〇三三三八八八 〇八八二 〒162-0033 東京都文京区本郷五 F〇〇三三三八八八 〇八八二</p>
<p>0844 青森市桂木一丁目十一 四二 F〇〇一七 七二二 五三二二 F〇〇一七 七二二 五三二二</p>	<p>日本共産党 青森県委員会 委員長 堀 幸光</p>	<p>日本共産党 北海道委員会 委員長 西野 敏郭 札幌市北区北六条西七丁目一 F〇〇一一 七四六 一一五一</p>	<p>治安維持法法国賠償同盟 北海道本部 札幌市中央区通西十二丁目六七番五 F〇一一一 二六一 三七八七</p>	<p>治安維持法法国賠償同盟 北海道本部 札幌市中央区通西十二丁目六七番五 F〇一一一 二六一 三七八七</p>	<p>治安維持法法国賠償同盟 北海道本部 札幌市中央区通西十二丁目六七番五 F〇一一一 二六一 三七八七</p>	<p>消費税率引上げ反対 中央経理事務所 税理士 千葉 幸美 東京都台東区三筋二一七一 F〇〇三三三八六二 〇六一一</p>	<p>弁護士(日本民主法律家協会) 澤藤 統一郎 〒113-0033 東京都文京区本郷五 F〇〇三三三八八八 〇八八二 〒113-0033 東京都文京区本郷五 F〇〇三三三八八八 〇八八二</p>
<p>0904 青森市茶屋町八 九 門倉方 F〇〇一七 七六五 一九八六 F〇〇一七 七六五 一九八七</p>	<p>治安維持法法国賠償同盟 青森県本部 委員長 門倉方 幸光</p>	<p>日本共産党 秋田県委員会 委員長 最上 健造 秋田市中通五丁目一 一九 F〇〇一八 八三三 七八五四</p>	<p>治安維持法法国賠償同盟 秋田県本部 会長 近江谷 昭二郎</p>	<p>日本共産党 宮城県委員会 委員長 中島 康博 仙台市青葉区一番町一 二二 二五 F〇〇二二 二六七 一五一</p>	<p>治安維持法法国賠償同盟 宮城県本部 会長 大川 芳夫 仙台市青葉区五橋一五三 県労連会館 F〇〇二二 二二二 六四五八</p>	<p>日本共産党 岩手県委員会 盛岡市本町通二 三 六 F〇〇一九 六五一 五八八一</p>	<p>治安維持法法国賠償同盟 岩手県本部 会長 川口 浩 盛岡市本町通一四二七 国民救援会 F〇〇一九 六五一 三五九一</p>
<p>山形市八日町二 三 八 鈴木光子方 F〇〇二三 六四四 一四二二 F〇〇二三 六四四 一四二二</p>	<p>治安維持法法国賠償同盟 山形県本部 会長 逸見 光雄</p>	<p>日本共産党 栃木県委員会 宇都宮市仲町三 一一 F〇〇二八 六二二 四三〇二</p>	<p>治安維持法法国賠償同盟 栃木県本部 芳賀郡益子町芦沢八四 四 F〇〇二八 五 七二 三三八〇四</p>	<p>日本共産党 茨城県委員会 委員長 関 戸 秀子 水戸市元吉田町二 三 F〇〇二九 一四七 六五三三</p>	<p>治安維持法法国賠償同盟 茨城県本部 会長 軽部 博 水戸市見川五 一七 二 二八一 F〇〇二九 一五三 二二四</p>	<p>日本共産党 福島県委員会 委員長 最上 清治 福島市南矢野目字谷地一七二 F〇〇二四 五五五 〇五五〇</p>	<p>治安維持法法国賠償同盟福島県本部 会長 加藤 起 福島市五月町二五 福島県労連内 F〇〇二四 五二二 三〇九七 F〇〇二四 五二二 三〇二二</p>
<p>群馬県前橋市大手町三 四 二 F〇〇二七 二三四 七七五 F〇〇二七 二三四 七七五</p>	<p>治安維持法法国賠償同盟 群馬県本部 委員長 大川 正治</p>	<p>日本共産党 東京都委員会 東京都渋谷区代々木一 三五 一五 F〇〇三三 三三七〇 〇三二一</p>	<p>治安維持法法国賠償同盟 東京都本部 副会長 川宮 弘勝 会長 佐藤 口田 同 境山 崎 滋 同 松井 鶴 雄 同 藤本 増久 美 同 次長 藤本 増久 美</p>	<p>日本共産党 千葉県委員会 千葉市中央区新千葉三 一六 一五 F〇〇四三 二四一 四一五一</p>	<p>治安維持法法国賠償同盟 千葉県本部 千葉市中央区松波一 四二 F〇〇四三 二五一 七三五</p>	<p>日本共産党 埼玉県委員会 さいたま市大宮区北袋町一 一七一 F〇〇四八 六五八 五五五一 F〇〇四八 六五八 五五五六</p>	<p>治安維持法法国賠償同盟埼玉県本部 会長 近藤 一雄 所沢市上山口一八〇 二 F〇〇四一 九三二 九一四〇</p>

<p>日本共産党 富山県委員会 委員長 反保直樹 富山市牛島本町一丁目 ☎〇七六 四三二 八三三三</p>	<p>日本共産党 新潟県委員会 委員長 小日向昭一 新潟市花園二 三 一〇 〒950 0086 ☎代表〇二五 二四七 六三六八 F〇二五 二四七 六三六八</p>	<p>日本共産党 新潟県本部 会長 鈴木良枝 〒951 8124 新潟市医学町通一 六七 八百源ビル三階 ☎・F〇二五 二六六 四五一九</p>	<p>治安維持法国賠同盟 神奈川県委員会 横浜市神奈川区西神奈川一 一八二二 ☎〇四五 四三二 二二〇一</p>	<p>日本共産党 神奈川県本部 会長 増本一彦 藤沢市藤沢五七 七フシビル 増本法律事務所内 ☎〇四六 六二二 一七二二</p>	<p>日本共産党 山梨県委員会 委員長 千葉信男 甲府市相生一 四 二一 ☎〇五五 二三五 二四三七</p>	<p>治安維持法国賠同盟 富山県本部 会長 古川松男 富山県上新川郡大沢町下大久保 一 二九九 四六八 小森方三〇三 ☎〇七六 四六八 三〇三</p>
<p>治安維持法国賠同盟 福井県本部 会長 吉田一夫 敦賀市新和町一 四九 一 ☎〇七七〇 二二二 二二七一</p>	<p>日本共産党 石川県委員会 委員長 秋元邦宏 金沢市中村町九 一〇 ☎〇七六 二四三 二八七七</p>	<p>日本共産党 長野県委員会 委員長 今井誠 長野市若里一 二二 七 長野市水部地区委員会 北水部地区委員会 佐久塩田地区委員会 上小更久地区委員会 諏塩木地区委員会 飯伊那地区委員会 中飯伊那地区委員会</p>	<p>日本共産党 岐阜県委員会 委員長 松岡清 岐阜市千石町一 二二 ☎〇五八 二六五 三七八一</p>	<p>治安維持法国賠同盟 岐阜県本部 岐阜市西野町六 二五 早川ビル3F ☎〇五八 二五一 四〇八二</p>	<p>日本共産党 福井県委員会 委員長 西村明宏 福井市文京二 五九 九 ☎〇七七六 二七 三八〇〇</p>	<p>日本共産党 愛知県委員会 委員長 岩中正巳 名古屋市中区新栄三 二二 二七 ☎〇五一 二六一 三四六一</p>
<p>治安維持法国賠同盟愛知県本部 会長 花田啓一 名古屋市中区大須四 一四五七 山岸ビル四六号 ☎〇五一 二五一 二六五</p>	<p>日本共産党 静岡県委員会 委員長 松下功 副委員長 浅賀道夫 副委員長 山村糸子 書記長 岩附幸雄 静岡市巴町六 四 ☎〇五四 二四五 二二四四</p>	<p>日本共産党 滋賀県委員会 委員長 奥谷和美 大津市昭和町四 八 ☎〇七七 五二二 八二一〇</p>	<p>治安維持法国賠同盟 滋賀県本部 会長 川端俊英 大津市南志賀二 四 五 ☎〇七七 五二四 六八六〇</p>	<p>日本共産党 三重県委員会 委員長 大嶽隆司 津市桜橋一 六〇九 ☎〇五九 二二七 七三〇一</p>	<p>日本共産党 三重県本部 会長 多喜正男 四日市新正四丁目一五 七 ☎〇五九 三五一 五三二七</p>	<p>治安維持法国賠同盟和歌山県本部 会長 藤沢弘太郎 和歌山市吉田一〇 二 ☎〇七三 四二二 七〇七六</p>
<p>日本共産党京都府委員会 委員長 中井作太郎 京都市中京区丸太町新町角 大炊町一八六 ☎〇七五 二二一 五三七一</p>	<p>日本共産党 和歌山県委員会 委員長 竹内良平 和歌山市西長町一 三三三 ☎〇七三 四二五 四一一一</p>	<p>日本共産党 紀南支部 支部長 芝峰進 支部長 和田四郎</p>	<p>日本共産党 和歌山県本部 和歌山北支部 支部長 関口義英 和歌山西支部 支部長 幸三 和歌山東支部 支部長 林幸三</p>	<p>日本共産党 和歌山県本部 和歌山北支部 支部長 西村純一 和歌山西支部 支部長 宇佐美秀昭</p>	<p>日本共産党 和歌山県本部 和歌山北支部 支部長 西村純一 和歌山西支部 支部長 宇佐美秀昭</p>	<p>日本共産党 和歌山県本部 和歌山北支部 支部長 西村純一 和歌山西支部 支部長 宇佐美秀昭</p>
<p>治安維持法国賠同盟大阪府本部 会長 柳河瀬精 大阪市天王寺区寺田町二 六二 東大阪ビル三階 ☎・F〇六 六七七 七五五五</p>	<p>日本共産党 和歌山県本部 和歌山北支部 支部長 西村純一 和歌山西支部 支部長 宇佐美秀昭</p>	<p>日本共産党 和歌山県本部 和歌山北支部 支部長 西村純一 和歌山西支部 支部長 宇佐美秀昭</p>	<p>日本共産党 和歌山県本部 和歌山北支部 支部長 西村純一 和歌山西支部 支部長 宇佐美秀昭</p>	<p>日本共産党 和歌山県本部 和歌山北支部 支部長 西村純一 和歌山西支部 支部長 宇佐美秀昭</p>	<p>日本共産党 和歌山県本部 和歌山北支部 支部長 西村純一 和歌山西支部 支部長 宇佐美秀昭</p>	<p>日本共産党 和歌山県本部 和歌山北支部 支部長 西村純一 和歌山西支部 支部長 宇佐美秀昭</p>

<p>日本共産党 大阪府委員会 大阪市天王寺区空堀町二三 ☎〇六 六七六一 八七七 一</p>	<p>治安維持法国賠償同盟 兵庫県本部 会 長 佐野 陽三 神戸市中央区元町通 六六 一一二 ☎〇七八 三五一 〇六七七</p>	<p>日本共産党 兵庫委員会 神戸市兵庫区新開地 三四 二〇〇 ☎〇七八 五七七 六二五五</p>	<p>治安維持法国賠償同盟 奈良県本部 奈良市西木辻瓦町35 井本ビル3F奈良連内 ☎〇七四 二二三 八五七六</p>	<p>日本共産党 奈良県委員会 奈良市四条大路丁目一六 ☎〇七四 一三五 五八一</p>	<p>治安維持法国賠償同盟 岡山県本部 会 長 則 武真一 岡山市西中島町一三 ☎〇八六 二七二 二四三八</p>	<p>日本共産党 岡山県委員会 岡山市新京橋一 三 一八 委員 長 中 原 猛 ☎〇八六 二七二 二二二</p>	<p>治安維持法国賠償同盟 島根県本部 会 長 金 森 ひろたか 出雲市塩治有原町四六一 勝部 庸一方 ☎〇八五 三 二二 三四七四</p>
<p>日本共産党 島根県委員会 松江市袖師町三六 委員 長 中 林 隆 ☎〇八五 二 二四 二四四四</p>	<p>治安維持法国賠償同盟 鳥取県本部 会 長 伊 藤 昭二 鳥取市立川町六丁目三四二八 (草刈司方) ☎〇八五 七 二四 四二五八</p>	<p>日本共産党 鳥取県委員会 鳥取市吉方一六八 八 ☎〇八五 七 二二 八三六九</p>	<p>治安維持法国賠償同盟 広島県本部 広島市中区上八丁堀八七 長束ビル四階広島共同法律事務所内 ☎八二 二二二 二八六七</p>	<p>日本共産党 広島県委員会 委員 長 鍵 浦 俊文 広島市中区八丁堀八番一―号 ☎八二 二二八 三三六六</p>	<p>治安維持法国賠償同盟 山口県本部 会 長 林 洋武 山口市駅通り一四六 福武ビル3F山口地域労連内 ☎八三 九三三 一八三三</p>	<p>日本共産党 山口県委員会 委員 長 山 本 文夫 山口市小郡山手上三七三五 ☎八三 九七二 四二二</p>	<p>四・一六事件被告 治安維持法国賠償同盟 山口県本部名誉会長 田 熊 真 澄</p>
<p>治安維持法国賠償同盟 徳島県本部 会 長 大 栗 丸人 徳島市寺島本町西二丁目一六 ☎八八 六二六 二二五</p>	<p>日本共産党徳島県委員会 委員 長 山 本 茂喜 徳島市北佐古二 四 四 ☎八八 六三二 一三二二</p>	<p>治安維持法国賠償同盟 香川県本部 会 長 久 保 文彦 高松市藤塚町三十一 一 ☎F 八七 八三五 一〇一一</p>	<p>日本共産党 香川県委員会 高松市藤塚町三十三 十四 ☎F 八七 八三四 七三一一</p>	<p>治安維持法国賠償同盟 愛媛県本部 会 長 吉 田 次雄 松山市大手町二五 一四 ☎八九 九三四 二二七五</p>	<p>日本共産党 愛媛県委員会 委員 長 山 下 満昭 松山市立花一 三 四四 ☎八九 九四三 五九七二</p>	<p>治安維持法国賠償同盟 高知県本部 会 長 梶 原 定 義 高知市河ノ瀬町一〇四 ☎八八 八八三 一八〇四</p>	<p>日本共産党 高知県委員会 高知市丸ノ内一 六一 ☎八八 八二四 一五五</p>
<p>治安維持法国賠償同盟 福岡県本部 会 長 角 銅 立身 福岡市中央区大名二 二五 第一吉田ビル五〇二 ☎九二 七三三 一四四</p>	<p>日本共産党 福岡県委員会 委員 長 安 広 和雄 福岡市博多区住吉五六 一四 ☎九二 四二一 五二二</p>	<p>治安維持法国賠償同盟 佐賀県本部 会 長 山 下 虎 芳 佐賀市大財一 五 四四 ☎九五 二 二六 二八三六</p>	<p>日本共産党 佐賀県委員会 佐賀市神野東四 一 三八 ☎九五 二 三三 〇三九一</p>	<p>治安維持法国賠償同盟 長崎県本部 会 長 吉 田 次雄 大村市吉町二 一六〇九 竹尾一夫 芳 ☎九五 七 五三 一三六七</p>	<p>日本共産党 長崎県委員会 委員 長 山 下 満昭 〒852 832長崎市扇町一 八 ☎〇九五 八四九 六四八一</p>	<p>治安維持法国賠償同盟 熊本県本部 会 長 梶 原 定 義 熊本市神水一 三〇 七 ☎九六 三八一 一八〇七</p>	<p>日本共産党 熊本県委員会 委員 長 久 保 山 啓介 熊本市細工町一 三三 ☎九六 三三二 二二七</p>
<p>治安維持法国賠償同盟 大分県本部 会 長 立 川 義人 宇佐市高森三二 都留忠久方 ☎九七八 三三七 八五二</p>	<p>日本共産党大分県委員会 委員 長 林 田 澄 孝 大分市中津留一 二 八 ☎九七 五五八 六五二</p>	<p>治安維持法国賠償同盟 宮崎県本部 0024 宮崎市祇園一丁目八四番地 ☎880 〇〇九八五 二二五 七七〇四 ☎880 〇〇九八五 二二五 七七〇四 児玉武夫 方</p>	<p>日本共産党 宮崎県委員会 宮崎市清水三 九 二八 ☎九八五 二二七 六六六六</p>	<p>治安維持法国賠償同盟 鹿児島県本部 会 長 小 堀 清 直 鹿児島市上福元町三八〇 八 ☎九九 二六八 一三三三</p>	<p>日本共産党鹿児島県委員会 委員 長 祝 迫 光 治 鹿児島市真砂本町四二 九 ☎九九 二五一 七三三三</p>	<p>治安維持法国賠償同盟 沖縄県本部 会 長 田 港 朝 昭 那覇市樋川一 九 二二 石原司法書士事務所 ☎九八 八三六 三六四九</p>	<p>日本共産党 沖縄県委員会 委員 長 赤 嶺 政 賢 那覇市泊一 四 七 ☎九八 八六二 六三三二</p>